

第3次総合計画 基本理念（案）

資料 3

第1次及び第2次総合計画では「やさしさとふれあいの西東京に暮らし、まちを楽しむ」という基本理念を掲げ、様々な施策を実施してきました。

第3次総合計画の基本構想を策定するに当たり、これまでの基本理念に込められた思いを踏まえて、合併から20年が経過した今、これからの未来に向けた新たな基本理念を描くために、下表のとおり様々な市民参加手法を実施して、市民意見の聴取に務めてきました。基本理念については、様々な市民意見を踏まえ、今後10年間の西東京市のあるべき姿を、市民にとって馴染みやすいフレーズで設定します。

【主な市民参加実績】

実施日・期間	市民参加手法	サンプル数・参加者数等
令和3年 11月～12月	市民意識調査	標本数 5,000人 有効回答数 2,443票 ※住民基本台帳（令和3年10月1日現在）に登録の18歳以上の男女を対象
	中学生まちづくりアンケート	標本数 1,374人 （市立中学校2年生） 有効回答数 1,218票
令和4年 2月～3月	企業団体等ヒアリング	協力企業・団体 60団体 内訳：ヒアリング参加 42団体 アンケート協力 18団体
7月2日	西東京市のミライを語るシンポジウム	パネルディスカッション登壇者 6人 市長トーク登壇者 5人 来場者 72人（アンケート回収数59） Youtubeライブ配信視聴回数 316回（アンケート提出数1）
7月27日 8月3日	子どもワークショップ 「西東京市のミライを考えよう！」	10人（小学生5人、中学生5人） ※小学5年生から中学生を対象
8月20日・27日	西東京市のミライを考える 「まちづくりワークショップ」 （会場実施）	1日目：21人 2日目：21人 ※高校生以上の在住・在勤・在学者を対象
9月7日・14日	西東京市のミライを考える 「まちづくりワークショップ」 （オンライン実施）	1日目：15人 2日目：14人 ※高校生以上の在住・在勤・在学者を対象

1. 近年の社会潮流（主なもの）

（1）人口と人口構造の変化

全国的には人口は減少傾向にあり、少子高齢化が進むことで生産年齢人口の減少による社会の担い手不足や老々介護・認知介護を行う家庭の増加などが懸念される。また、高齢者が増えることから、高齢者が現役として活躍できる仕組みや地域づくりが求められる。

（2）多様性を受け入れる社会

価値観や生き方、働き方などの多様化に伴い、多様性（ダイバーシティ）を受け入れて一人ひとりを尊重し、年齢や性別、国籍、心身の障害の有無等により差別されることなく全ての人が共生する社会（インクルーシブ）の実現が求められる。

（3）重層的に支えあえる社会

家族構成の変化と多様化により、生活課題も複雑化や複合化が進んでいる。多様化する生活困窮や子どもの虐待、引きこもり、ヤングケアラーなどの問題に対し、社会全体で支えあえる体制の構築が求められる。

（4）持続可能な社会

ゼロカーボンシティや地球規模の危機への対応など、SDGs に代表される誰一人取り残さない持続可能で多様性と包括性のある社会を実現し、未来に繋いでいくことが求められる。

2. 令和4年度人口推計から見る西東京市の特徴

- ・本市の人口は、令和9年まで微増を続けた後に人口減少に転ずるが、20年後の令和24年においても20万人の人口を維持し続ける。
- ・100戸以上の集合住宅などの大規模住宅開発による転入者を見ると、男女とも0～4歳、30～44歳代の子育て世代が多く転入している傾向が見られる。また、近年の宅地化に伴う住宅開発の転入者も同様の世代と推測されている。そのため、本市の社会増のボリュームゾーンとなる世代は、30歳代から40歳代までと考えられる。
- ・令和24年度までの推計においては、上記の転入傾向（社会増）が令和9年度を目途に落ち着き、段階的に減少に転じる推計となっている。年齢3区分別人口では、年少人口と生産年齢人口は減少し、老年人口が増加することになる。 高齢化率は、令和4年時点で24.2%だが、令和24年には31.3%となり、超高齢社会が一層進展することになる。

3. 各市民参加で共通して多かった意見（将来のまちの姿）

① 住みやすいまちに関する意見

「住みやすい」、「住んでいてよかった」、「安心・安全」など

② 多様性や個の尊重に関する意見

「誰もが・どの世代でも」、「差別のない・他者を尊重できる」、「協力し合える」など

③ 子どもに関する意見

「子育てしやすい」、「子どもにやさしい」など

4. 第2次総合計画策定時と比較して多く出ていた市民意見（将来のまちの姿）

① 住みやすいまちに関する意見

「落ち着けるまち」、「居心地のいいまち」、「ほっとできるまち」、「深呼吸のできるまち」、「アットホームなまち」、「自分の時間を大事にすることが出来るまち」、「長く住み続けられるまち」、「私のふるさと西東京」、「ずっと住んでいたいまち」、「ずっと住んでいられるまち」

② 多様性や個の尊重に関する意見

「子どもも大人も自己肯定感があるまち」、「多数決でないまちづくり」、「一人ひとりの個を大事にするまち」、「他人のことを尊重できるまち」

【案1】

みんなで築く 人にまちに未来にやさしいまち 西東京
→ 紡ぐ、織り成す

【現行計画に準じた案】人にまちに未来にやさしいまち西東京を みんなで紡ぐ
【シンプルな構成の案】人にまちに未来にやさしいまち 西東京

【背景】

市民参加の場では、「西東京市の人のやさしさ」や「温かさ」などの意見が多く出されました。また、将来像のキーワードとして「持続可能性」、「SDGs」、「エコ」、「ユニバーサルデザイン」なども出されました。

一方、西東京市を取り巻く状況を見ると、ダイバーシティやインクルーシブ社会、重層的支援など「人にやさしい社会」、気候変動や地球温暖化への対応、生物多様性など「地球やまちにやさしい社会」が課題となっており、それらの課題への取組や成果を次世代へと引き継いでいくことが求められています。

フレーズ	説明（意図・理由）	市民意見
みんなで築く	「みんなで」には、まちづくりに関わる様々な主体が、ともに、 <u>協働して、</u> <u>という意味を込めている</u> 。また、一人ひとりが、「 <u>まちづくりは自分事</u> 」と <u>いう意識を持ってもらいたい</u> という 思いを示しています。 「築く」は、 <u>力を合わせて創り上げて</u> <u>いくさまを表しています</u> 。	<ul style="list-style-type: none">・市民全員が協力しあえる、活気あふれたまち（中学生）・地域住民が地域づくりのプレーヤーになれる（団体ヒア）・自分の役割をまちの中で見つける（シンポジウム）・一人ひとりが西東京市を「いいまちだな」と思う気持ちになる（子ども）・多数決でないまちづくり（市民）
紡ぐ	目に見えない大切なものを一つにつなげていくさまを表しています。	
織り成す	複数のものが混ざって調和している状態、いくつかの物事が重なり合い一つまとまりある物になっている状態を示しています。	
人にまちに未来にやさしいまち	<u>コミュニティや地域社会、暮らしを取り巻く環境や都市基盤、また現状だけでなく未来を見据えて、まちづくりを進めていく姿勢</u> を示しています。 「やさしい」は、他人に対する思いやりだけでなく、 <u>環境への配慮や持続可能性の意味も</u> 込められています。	<ul style="list-style-type: none">・自然にも人にも優しいまち（中学生）・子どもに優しい、子育てしやすいまち（中学生、シンポジウム）・バリアフリーで高齢者にも優しいまち（中学生）・SDGsにも取り組んでいるまち（中学生）・誰も取り残さないまち（団体ヒア）・人にやさしいまち（シンポジウム）

【案2】

一人ひとりがつながりいきる 深呼吸ができるまち 西東京

【現行計画に準じた案】深呼吸ができるまち西東京で 一人ひとりがつながりいきる

【シンプルな構成の案】深呼吸ができるまち 西東京

【背景】

「深呼吸できる」は、シンポジウムの中で出された言葉です。「深呼吸」には、「帰ってきてほっとできる」「豊かな自然環境を感じられる」「自分らしくいられる居場所がある」など、様々な意味合いが込められています。また、市民参加の場では、「一人ひとりを大事にする」「一人ひとりを活かせる」などの個を大事にする視点と、「人と人とのつながり」「交流」「分かち合う」などのつながりを求める視点が出されました。

一方、西東京市を取り巻く状況を見ると、ダイバーシティやインクルーシブ社会、重層的支援など、「個」を重視しながらも、つながりによって社会を支えていく仕組みが求められています。また、人だけでなく、都市としての持続可能性が求められており、都市機能と自然環境のバランスを維持しつつ、次世代へと引き継いでいくことが必要です。

フレーズ	説明（意図・理由）	市民意見
一人ひとりがつながりいきる	<u>個性や多様性を大事にする視点と、つながりや支え合いを求める視点</u> を表しています。 また、「いきる」には「生きる」と「活きる」の両方の意味を込めており、「生きる」は、安全・安心に居心地よく暮らせる、日々を充実して生きていく、「活きる」は、楽しむ、活力、明るい、生きがいといった、自分らしく成長していくニュアンスを含めています。	<ul style="list-style-type: none">・子どもがためらわずに意見を堂々と言える（中学生）・いろんな人と交流ができるまち（中学生）・自分の時間を大事にできるまち（シンポジウム）・人と人とのつながりを大事にできるまち（シンポジウム）・一人ひとりを活かせるまち（市民）・顔の見える関係があるまち（市民）・生涯現役（市民）
深呼吸ができるまち	居心地が良く、心から落ち着ける状態を示しています。また、「ほっと安心できる場所」「居心地の良い場所」「自分らしくいられる場所」など、 <u>安全・安心な暮らしにつながる様々な意味や、身近に緑が感じられる環境</u> といった意味も込めています。	<ul style="list-style-type: none">・ほっとできる、深呼吸ができるまち（シンポジウム）・アットホームなまち（シンポジウム）・心の安心を感じられるまち（シンポジウム）・落ち着けるまち（中学生）・懐かしさを残した、自然があるけど便利なまち（中学生）・居心地が良いまち（中学生）・私のふるさと西東京（子ども）

【案3】

ともにみらいにつなぐ やさしさといこいのまち 西東京

【現行計画に準じた案】 やさしさといこいのまち西東京を みらいにつなぐ

【シンプルな構成の案】 やさしさといこいのまち 西東京

【背景】

市民参加の場では、「西東京市の人のやさしさ」や「温かさ」などの意見が多く出されました。また、市民意識調査では現在の西東京市のイメージについて「まちなかの自然が豊かである」という回答が最も多いという結果となりました。

第2次総合計画の基本理念である「やさしさ」を継承しつつ、西東京市の特徴でもある身近な自然や豊かな自然を次世代へつなぐとともに、この地に住む人々が心から安心できる「いこい」の場でありたいという意味を込めています。

フレーズ	説明（意図・理由）	市民意見
ともにみらいにつなぐ	<p>「ともに」は、まちづくりに関わる様々な主体が、ともに、協働して、という意味を込めています。また、個の力だけでなく、みんなで手を携えていくさまを表しています。</p> <p>「みらいにつなぐ」は、みんなで描いてつくりあげる西東京市を、次世代へとつないでいくことに加えて、地域コミュニティの中でのつながりから生まれる支え合いや助け合いなど「顔が見える」関係づくり、知らない人や新しいこととの出会いによってもたらされる喜びや刺激、多世代や異文化、異業種とのつながりによるコラボレーションなど、様々なつながりを指しています。また、そこから、未来へと夢や希望が広がっていくことを目指しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民全員が協力しあえる、活気あふれたまち（中学生） ・地域住民が地域づくりのプレーヤーになれる（団体ヒア） ・誰も取り残さないまち（団体ヒア） ・若者が住みやすく、子育てしやすい未来あるまち（団体ヒア） ・子どもに明るい未来を残す（シンポジウム） ・人と人とのつながりを大切にできるまち（シンポジウム） ・まちの歴史を未来につなげる（子ども） ・一人ひとり違うが、全てつながっている（子ども） ・暮らし続けられるまち（市民） ・ゆるいつながりのあるまち（市民）
やさしさといこいのまち	<p>「やさしい」は、市民参加の場で多く出された意見で、他人に対する思いやりだけでなく、環境への配慮や持続可能性の意味も込めています。また、都心に近いながらも緑の多く残る地であり、自然と共存する安らぎの環境を引き続き未来へ残していきたいという意味を、これまで市民が慣れ親しんでいる「いこい」という言葉に込めています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然にも人にも優しいまち（中学生） ・子どもに優しい、子育てしやすいまち（中学生、シンポジウム） ・バリアフリーで高齢者にも優しいまち（中学生） ・人にやさしいまち（シンポジウム） ・緑豊かで自然と人々が共存（中学校） ・帰ってきたくなるまち（市民） ・ほっとできる深呼吸ができるまち（シンポジウム） ・公園等のみどりが残された安らげる環境がある。（団体ヒア）

【案4】

誰にとっても「ちょうどいい」 みんなでつくるまち 西東京

【現行計画に準じた案】誰にとっても「ちょうどいい」まち西東京を みんなでつくる
【シンプルな構成の案】「ちょうどいい」まち 西東京

【背景】

市民参加の場では、西東京市の良さとして「都市と自然環境のバランス」や「適度に生活に必要なものが揃っている利便性」などが多く挙げられており、市民ワークショップでも、『ちょうどいい』というキーワードが提案されました。

一方、今後、人口減少や少子高齢化が進むなか、人口構成のバランスの維持や、一人ひとりの価値観や個性が受け入れられる社会の実現が大きな課題となっており、様々な面から「ちょうどいい」「バランス」が求められています。また、西東京市では農地の減少が課題となっており、都市機能と自然環境のバランスを維持しつつ、次世代へと引き継いでいくことが求められています。

フレーズ	説明（意図・理由）	市民意見
誰にとっても「ちょうどいい」	子どもから高齢者まで、また、子育て世代や障がいを持った方など、西東京で暮らす様々な状況にある人々にとって、暮らしやすく、必要なものが一通り揃っている状態を表現しています。	<ul style="list-style-type: none">・ほどよく住みやすいまち（中学生）・たくさんの人たちが快適に暮らせるまち（子ども）・ちょうどいい都下の魅力を揃えました（市民）
みんなでつくるまち	まちづくりに関わる様々な主体が、ともに、協働して、という意味を込めています。また、一人ひとりが、「まちづくりは自分事」という意識を持って、自ら考え行動していく主体性を示しています。	<ul style="list-style-type: none">・市民全員が協力しあえる、活気あふれたまち（中学生）・地域住民が地域づくりのプレーヤーになれる（団体ヒア）・自分の役割をまちの中で見つける（シンポジウム）・一人ひとりが西東京市を「いいまちだな」と思う気持ちになる（子ども）・多数決でないまちづくり（市民）

【案5】

みんなが描く みらいへとつながる のびしろのあるまち 西東京
→デザインする

【現行計画に準じた案】のびしろのあるまち西東京を デザインする

【シンプルな構成の案】のびしろのあるまち 西東京

【背景】

西東京市は合併から20年という、まだ若い市であり、伸びしろや可能性を秘めています。

市民参加の場でも、「余白（のびしろ）があるまち」「夢があるまち」「希望に満ちあふれたまち」

「何度でも挑戦できる」などのキーワードが出されました。

西東京市を取り巻く状況は大きく変化しつつあり様々な課題を抱えていますが、そうした課題に向き合い、失敗を恐れず、未来に向けてみんなでつくりあげていく、というイメージを前面に押し出しています。

フレーズ	説明（意図・理由）	市民意見
みんなが描く	市民一人ひとりが主体であることを示しています。「みんなが」とすることで、 <u>一人ひとりが「まちづくりは自分事」という意識を持って、自ら考え行動していく主体性を示しています。</u> 一人ひとりが自分の夢の実現に向けて、未来予想図や設計図を描く、また、 <u>一人ひとりの夢が叶う社会をみんなで作り上げていくことを表現しています。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が地域づくりのプレーヤーになれる（団体ヒア） ・あらゆる可能性を秘めた人材が豊かな西東京市で、一人ひとりがその力を十分に発揮する（団体ヒア） ・自分の役割をまちの中で見つける（シンポジウム） ・一人ひとりが西東京市を「いいまちだな」と思う気持ちになる（子ども） ・自分の人生を選択できるまち（市民）
デザインする	「デザイン」には問題の本質を深く掘り下げ、問題を解決するための設計を行い、設計に基づいた見た目（表現）を作り、結果的に問題を解決に導くこと、という意味があります。また、一人ひとりが自分の未来を設計し、夢を実現していく、という思いを込めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が住みやすく、子育てしやすい未来あるまち（団体ヒア） ・子どもに明るい未来を残す（シンポジウム） ・人と人とのつながりを大切にできるまち（シンポジウム） ・まちの歴史を未来につなげる（子ども） ・一人ひとり違うが、全てつながっている（子ども） ・暮らし続けられるまち（市民） ・ゆるいつながりのあるまち（市民）
みらいへとつながる	みんなで描いてつくりあげる西東京市を、 <u>次世代へとつないでいくことに加えて、地域コミュニティの中でのつながりから生まれる支え合いや助け合いなど「顔が見える」関係づくり、知らない人や新しいこととの出会いによってもたらされる喜びや刺激、多世代や異文化、異業種とのつながりによるコラボレーションなど、様々なつながりを指しています。</u> また、そこから、未来へと夢や希望が広がっていくことを目指しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・夢があるまち（中学生） ・希望に満ちあふれたまち（中学生） ・未来あるまち（団体ヒア） ・何回でも失敗できて何回でも挑戦できるまち（シンポジウム） ・多数決でないまちづくり（市民） ・余白（のびしろ）があるまち（市民）
のびしろのあるまち	西東京市には、 <u>まだまだ余白（のびしろ）が残されており、そのキャンパスに一人ひとりが夢や未来を描いていくことで、まちづくりが進んでいくことを表現しています。</u> また、市民一人ひとりだけでなく、まちを支える市民力も無限大であり、これから <u>ますます発展する可能性のあるまち</u> であるという意味も込めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・夢があるまち（中学生） ・希望に満ちあふれたまち（中学生） ・未来あるまち（団体ヒア） ・何回でも失敗できて何回でも挑戦できるまち（シンポジウム） ・多数決でないまちづくり（市民） ・余白（のびしろ）があるまち（市民）